

会 議 録

平成21年4月13日調製

審議会等名	平成20年度 第3回 社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成21年3月24日(火) 午後4時00分～5時20分		
開催場所	三条市中央公民館3階 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	社会教育委員 丸山照子委員 安藤正之委員 廣川邦夫委員		
	樋口一三委員 中村保夫委員 目黒徳一委員		
	横山正美委員 山田宏高委員 太田礼子委員		
	高橋美智子委員		
	三条市	松永教育長 長谷川市民部長	
		金子生涯学習課長 近藤生涯学習課課長補佐	
		小林生涯学習係長 山田主事	
		(欠席者) 棚橋正明委員 小菅 信委員 阿部凉子委員	
議 題	(1) 平成19・20年度社会教育委員会議テーマについて		
	「家庭や地域の教育力の向上と学校の連携～地域と団塊の世代の関わり～」		
	(2) 平成20年度生涯学習課事業報告		
	(3) 平成21年度生涯学習課事業計画(案)		
	(4) その他		
発言内容等			
金子課長	会議に入る前に、欠席者の連絡をしたい。棚橋委員、小菅委員及び阿部委員より欠席連絡が入っている。本日は3委員が欠席となる。		
廣川議長	<開会のあいさつ>		
松永教育長	<教育長あいさつ>		
廣川議長	次第に従い、議題(1)「平成19・20年度社会教育委員会議テーマについて」横山委員より説明願いたい。		
横山副議長	説明に入る前に検討の経緯について説明する。平成19年度の第1回目の会議の中で、平成19・20年度の社会教育委員のテーマを「家庭や地域の教育力の向上と学校の連携～地域と団塊の世代の関わり～」として設け活動に当たることとした。		

	<p>平成19年度の第2回目の会議では聖籠中学校に視察に行き、第3回目の会議の前に、小委員会を立ち上げ、以降会議で意見をもらう中で平成20年9月に小委員会を開催し、骨子を作成した。定例の会議とは別に小委員会を数度開催し、平成21年3月2日に素案を提示しさらに意見をもらい、本日資料の提出となった。</p> <p>資料は団塊の世代の人口の構成などから始まり、三条市を取り巻く環境の変化、家庭・地域・学校の現状認識、提言内容という形になっている。</p> <p>こうした2年間の経緯により提言としてまとめた。</p> <p>さまざまな市の施策に反映してもらいたい。</p>
廣川議長	<p>多くの意見または、会議を重ねる中で提言としてこの資料の形にまとめた。これをもって提言としてよいか承認を願いたい。</p>
一同	<承認>
廣川議長	承認されたので、これを提言として市、教育委員会へ提出したい。
金子課長	教育委員会へは生涯学習課から提出する。
廣川議長	次に、議題(2)「平成20年度生涯学習課事業報告」について事務局から説明を願いたい。
金子課長	<p>資料に基づき説明を行う。</p> <p>生涯学習事業としては社会教育委員会議の開催し、2ヵ年にわたりテーマに沿って議論していただいた。また、生涯学習推進会議や、生涯学習推進事業の実施を通し生涯学習の推進を行った。3月20日には成人式を開催し、成人が作る参加型の抽選会を実施し、従来になく一体感のある成人式となった。そのほか、ボランティア養成講座の実施、第二中学校区公民館建設事業などを行った。</p> <p>芸術文化事業としては、美術展、音楽祭、ピアノリサイタルなどを実施し、新たな事業としては、市庁舎等ギャラリーの開設と美術館めぐりを実施。</p> <p>市庁舎等ギャラリーでは、市民の美術作品の展示スペースを設け、月に1回の展示替えを行うなど、鑑賞機会の充実と作品発表の場の提供を行った。次に美術館めぐりでは、東京の劇場への舞台芸術鑑賞を実施した。</p> <p>文化財事業としては、文化財保護審議会の実施、文化財めぐり、かぐら鑑賞会などを実施し、文化財調査では、来迎寺観音堂建造物調査や下田地区伝統民俗芸能調査、上野原遺跡の出土品などについての調査を行った。</p> <p>出土品においては、市の文化財登録に向けて動いているところである。</p>
廣川議長	報告を受けて質疑等あれば発言をお願いしたい。
山田委員	<p>成人式に初めて出席したが、主催者として出席した社会教育委員の服装について、教育委員が礼服で列席しており、社会教育委員も礼服での参加が好ましかったのではないか。</p>

	次に、文化財調査について、下田地区伝統民俗芸能調査を行ったとあるが、実際にどのような調査を実施したのか。
廣川議長	1点目が成人式の服装について、2点目が下田地区伝統民俗芸能調査の詳しい内容についてであるが、事務局から回答願いたい。
金子課長	服装については、市長、教育長へは略礼服での出席をお願いしているがそれ以外の来賓、主催者へは特別に服装の案内は出しておらず、平服での出席で問題ない。
	次に下田地区伝統民俗芸能調査について、旧三条市では6神社がかぐら保存会を作り、かぐら保存に努めており、県の文化財指定を受けている。
	旧栄地区においても、3神社が保存会を作り、市の文化財指定を受けている。
	下田地区においては各神社にかぐら舞が残っているが、下田村の時代から、村の指定文化財への取り組み、調査がされていなかったため、どのくらいのかぐら舞が残っているか、また、保存会の結成が可能かどうかといった、基礎調査を順次始めたものである。
山田委員	長沢集落でもかぐらを行っているので調査してもらいたい。また、掛け声や太鼓の叩き方など地域によっても違っているので、そのような面も調査してもらいたい。
横山委員	現在下大浦でかぐら保存会の役員をやっているが、保存会の規約がほぼまとまっており、21年度からは保存会が結成される。また、市の調査に関わらず、各集落で伝統を受け継いできているので、これを機会に光をあててもらいたい。
松永教育長	成人式の服装について補足しておく。教育委員は例年略礼服で参加していたため、今年度も例年通りの服装で出席しただけであり、事務局の説明どおり平服で問題ない。
高橋委員	成人のことばで成人が登壇した際に、女性がショールをつけたまま登壇していたが、ショールはコートなどと同類のものであり、外すべきである。
山田委員	成人にとってはアクセサリ感覚であり、認識がなかったものと思う。
小林係長	配慮が足りず申しわけない。以後気がついたら注意したい。
金子課長	リハーサルを実施したが、成人式でのショールに対する認識不足であった。
廣川議長	次に、議題(3)「平成21年度生涯学習課事業計画(案)」について、事務局から説明を願いたい。
金子課長	公民館等の事業計画については年度が替わって第1回目の社会教育委員会会議で説明することとし、生涯学習課の事業計画について新しい事項を中心に、資料に基づき説明する。
	重点事項の新しいものとしては3つあり、1つ目が、各部署および関係

	<p>団体等との連携による事業の計画。2つ目が団塊の世代の社会参加促進による地域活性化への取り組みとして、提言を受けたような内容の具現化。</p> <p>3つ目が生涯学習関連事業を通じた地域活性化の検討として、漢学の里の活性化や、中心市街地の歴史的建造物の調査などがある。</p> <p>生涯学習事業としては、社会教育委員会議、生涯学習啓発事業、成人式やボランティア養成講座などを予定しており、新しいものとしては、企業・関係団体との連携事業、団塊の世代等社会参加促進事業、社会同和教育市町村巡回研究集会があり、巡回研究集会は県との共催により、三条市・加茂市・田上町の3市町で連携して実施するものである。</p> <p>芸術文化事業としては、美術展、音楽祭、錦織健テノールリサイタルなどを予定しており、新しいものとしては、音楽交流イベントがある。市の例月政策会議で企画されたロックやレゲエといった音楽を通じて若者の交流を図るイベントであり、それを生涯学習課が受けたものである。10月上旬に実施を予定しており、JC主催の「燕三条フェスティバル」と同日開催の形をとり、燕三条駅周辺で開催の予定で調整している。</p> <p>文化財事業としては、文化財保護審議会、文化財めぐり、かぐら鑑賞会や栄体育館建設に伴う新堀の発掘調査などを予定しており、新しいものとしては、中心市街地歴史的建造物調査があり、昭和20年以前の建築物の町家等を調査し、貴重な建物については登録有形文化財とし、利用できる建物については、まちづくりや景観に活用していくための基礎調査を行う。</p> <p>施設整備としては、第二中学校区公民館の建設に着手し、平成22年4月竣工を予定している。次に図書館の栄分館の開設を本年4月26日に予定しており、現在作業を進めている。</p> <p>なお、生涯学習事業の企業・関係団体との連携事業及び、団塊の世代等社会参加促進事業について担当から補足説明をする。</p>
小林係長	<p>まず企業・関係団体との連携事業について、具体的には、日本銀行が組織している貯蓄推進団体が、市町村の生涯学習関係部局に対して、暮らし・金融などをテーマとした地域貢献事業を実施しており、これらとの連携を検討している。</p> <p>次に団塊の世代等社会参加促進事業について、県と連携し、社会教育委員会議の提言を踏まえた事業を企画・運営していくものであり、地域コーディネーターの発掘や、公民館事業の通学合宿などへの協力者の育成など社会参加が出来るような団塊の世代の育成事業を計画しており、社会教育委員の提言を踏まえて良いものを作っていきたい。</p>
廣川議長	<p>社会教育委員の提言を踏まえた内容もあるので、質疑等あれば発言を願いたい。</p>

山田委員	時間をかけて深めていく部分であると思うが、団塊の世代の社会参加の
	中で、学校、地域、家庭、団塊の世代のそれぞれの連携がまだ希薄である
	ように感じる。
金子課長	次に、文化財事業について、農業土木遺産が多く残っているが、それらの遺産価値を見出して事業化してもらいたい。
金子課長	どういったものがあるか。
山田委員	一番顕著なものとしては、早水地区岩崎にある橋から見た「まぶ」という用水路が挙げられる。
金子課長	八木鼻にも「まぶ」があり、既に担当が確認している。文化財保護審議会で検討中である。
太田委員	団塊の世代の社会参加ということで、自分自身大崎地区で活動しているが、地域コミュニティが一番参加しやすい場所であり、地域コミュニティとの連携はできないか。
金子課長	大崎の例でいくと大崎公民館内に事務所があり、公民館との連絡・交流があると思うので調査する。
安藤委員	団塊の世代にかかる事業について、県から支援があるということであるが、費用面でどのような支援があるか、それに係る県からの資料を提示願いたい。
小林係長	提示されているものとして、費用面では、講師の交通費や謝礼金など、外部から講師を呼んだ際の経費が基本的に認められるものになる。なお、謝礼金は大学講師クラスで1時間7,600円、その他は1時間3,800円となっている。今後県と話を詰める中でより詳しい資料の提示がなされるものと考えている。
中村委員	生涯学習課は連携意識が高いが、他の部局を見た時にどの程度の連携を意識しているか。また、市では様々な事業があり、それらを網羅できるのは社会教育委員であると思うので、市の様々な事業の資料を提出していただきたい。
金子課長	指摘いただいた資料については新年度提示したい。
松永教育長	社会教育委員のみなさんに伺いたい。提言書の中で、教育委員と社会教育委員との連携協議とあるが、具体的にどのような形の情報共有や連携を想定しているのか。資料を提示するだけでよいのかなど、具体的な内容を教えていただきたい。
	また、団塊の世代の学校との連携とあるが、実際、コミュニティや団塊の世代に関わらず、地域の方が学校と連携するシステムは多くあり、団塊の世代に限った一つのシステムを作ることは難しいと感じる。現在あるシステムを生かした中で、団塊の世代が参加する仕組み作りが必要なのでは

	ないか。
山田委員	地域で様々なシステムやパイプはあるが、どれもが五月雨的であると感 じている。今後は五月雨式ではないしっかりとしたシステムを作る必要が ある。
	また、情報交換については、顔を付き合わせて行うことで、様々な意見 が出る横断的な意見交換会を実施していただきたい。
横山委員	資料の提示だけでは、相手が何を考えているか分からないため、顔を付 き合わせての意見の交換が大事である。他市町村では定期交流を行ってい るところもある。
松永教育長	何をテーマに何のために話し合いをするのか決めないと言いつ放しにな ってしまう。
山田委員	テーマとしては、社会教育的であり学校教育でもある「地域教育力」 がふさわしいのではないか。テーマを絞りすぎると専門色が濃くなるため、 まずは顔を合わせることをスタートとし、そこからテーマを具体化してい くことが望ましい。
廣川議長	まずは教育委員と社会教育委員の接点として、お互いがどのような事を しているのかといった、大まかな情報交換から始めることが必要であり、 実のあるものとするためにも、見通しのたった連携が必要である。
	本日は長時間にわたる審議に感謝する。併せて2年間にわたる熱心な議 論に心より御礼申し上げます。

17:20 閉会